

道でもあるのです。

文化的な多様性を尊重する、偉大な価値によって結ばれた運動は、積極的な参加や、新しい構成員を迎え変革に加わる意欲を振興します。こうした理由から、協同は、リージョナルとグローバルの両方において、21世紀の経済的・社会的挑戦課題に最も良く応える企業モデルである、と思われまます。

これらすべての挑戦課題において、私たちは「協同の優位性」を持っています。それは、何世代もの協同組合人によって作りだされ、将来の世代に継承・発展させられるべき財産です。

もちろん、これらすべてのことは、自然発生的には起こりません。

未来への扉は狭いのです。そこに入るといふことは、協同組合がグローバル市場の挑戦

に立ち向かい、各国と世界全体でそのイメージを高めること、協同組合運動を希望と信頼に満ちたものとして見ている、女性と男性の、夢を満たし、必要を充足することを意味します。

協同組合の仲間のみなさん、以上のことは、私たちがより強力なICAをつくりあげる責任を引き受けている理由でもあると、私は信じています。

こうした使命感の上に、本総会は、国際協同組合同盟の再組織と成長に向けた、重要なステップを告げています。

私は、こうした理念を体現するICAの、理事長としてみなさんを代表することを、本当に誇りに思い、大きな喜びと共に、私たちの総会の開会を宣言します。

ありがとうございました。

(見出しは訳者)

ILO ファン・ソマビア事務局長挨拶

ICA 総会



訳 菅野正純(日本労協連)

ご招待ありがとうございます。本日みなさんとお会いできて幸せです。

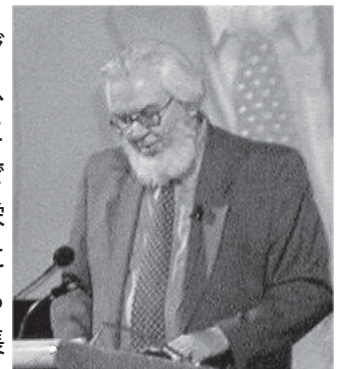
ノルウェーのホストのみなさんに、そのおもてなしに対してだけでなく、協同組合運動支援の豊かなノルウェーの歴史に対して、またこの決定的に重要な領域におけるILOでの主要な役割と私たちとのパートナーシップに対して、感謝申し上げます。

私はチリにおける民主主義を求める闘いを通じて、私自身の経験から、ノルウェーの友人たちが頼りになることを知っています。彼らは流行に従いませんが、正しいと思った人々たちに対して、最も必要なときに、忠実に支

援してくれることでしょう。

それは、協同組合についても同様です。ボンデビック(ノルウェー)首相がこの総会に出席されたことは、そのことをはっきりと示しています。

また、(ブラジルの)ロドリゲス(農業)大臣とこの演壇に同席してきたことは、光栄です。彼がここに参加されていることは、彼が会長



を務めた世界の協同組合運動にとっての希望だけでなく、ルラ大統領と共により良い未来を求めるブラジルの人びとの希望をも体現するものです。

同様に(ノルウェーの)ジョンソン(国際開発)大臣と同席できたことをうれしく思っています。彼女は、開発の考え方を革新されました。革新する勇気を持ち、国際開発諸機関に対して、効率性と有効性、およびチームワークを、正当にも要求されています。

何よりも私は、国際協同組合同盟の会員と総会代議員のみなさんに感謝します。みなさんが指導されている仕事と、擁護されている価値、示されている事例に感謝します。世界中のコミュニティにおいて、協同組合は、明かりを灯し、水を循環させ、信用の流れをつくりだし、そうして希望を拡大し続けています。

協同組合運動は、地域コミュニティと様々な現実根ざして、驚くべきグローバルなネットワークをつくりあげています。その現実には、世界のあらゆる隅々から、またあらゆる社会部門から発しています。

にもかかわらず、協同組合の事業は、私たちがILOにおいて「協同の優位性」と呼ぶものは、私たち同時代の多数の挑戦課題に対して解決策を提供する重要な道具として、まだ十分に認められていません。みなさんは、新自由主義経済の世界において流行でないだけなのです。

それゆえ、私の本日のメッセージは、単純かつ率直なものです。私はみなさんを支持するためにやってきました。私は、心からの確信をもって、そうしています。

就労を創出し貧困を削減し、価値と利益をつなぎ、あるいはグローバル化をより公正で包容的なものにするによって、コミュニ

ティの声と代表者となっている。そのような協同組合事業と協同組合運動は、より正義に適った、より生産的な、より均衡のとれた社会のための、中心的な担い手と見なされなければなりません。

耳を貸そうとしない人たちに対して、大きい声で明瞭に言わせてください。みなさんは現在と未来を代表しているのであって、過去の遺物ではないのだ、と。

私たちは、私たちの歴史を誇りにしています。ILOとICAのパートナーシップは、そもそも初期に遡ります。ILOの初代事務局長、アルベルト・トマは、1930年のみなさんの大会における挨拶で、そのことを見事に示したのではないのでしょうか。

「私たち二つの組織は」と彼は言っています。「技術的、制度的に結びついてきました。しかし最も重要なことは、技術でも手続きでもなく、両組織を内側から突き動かしている精神、お互いの心の交感なのです」。

それゆえ私たちは、豊かな遺産を共に称えますが、しかし私たちの強さは常に、未来への私たちのビジョン、明日に向けた私たちの共通の焦点なのです。

そのことは、昨年私たちが「ILO協同組合振興193号勧告」確立のために手を携えて進めたパートナーシップにおいて、明らかです。この勧告は、協同組合開発のための、唯一の国際的政策枠組であり、各国政府と雇用者団体、労働組合によって採択され、有力な市民社会組織によって支持されたことでいっそうその価値を増しています。

それは、グローバル化の時代において、協同組合の役割を現代的に再確認するものでした。そのことは、この会場全体に見てとり実感できる、際立った多様性、無限のエネルギー、ひしひしと伝わる積極的な精神の中

に、明瞭に現われています。

しかしまた、私たちが新たな枠組みを必要としていたことを確認しようではありませんか。協同組合は、まず、国家統制の企てによって、次いでイデオロギー的な無視によって、苦しんできました。

私たちは、社会と経済に対する協同組合運動の価値についての、また、政府に期待すべき法的・政策的環境についての、新しい声明を必要としていたのです。

ICAは、ILOの交渉テーブルの三席すべてにメンバーを配置し、勧告策定のプロセスで決定的に重要な役割を果たしました。

私はまた、勧告の付録が、150年以上前にロッチデールを先駆けとする、1995年ICA大会「協同組合のアイデンティティ声明」からの抜粋であることを、誇りにしています。

この会場における複数主義（多元主義）は、みなさんが誰を代表しているかだけではなく、発展のために何を代表しているのかを、雄弁に証明しています。みなさんは多様です。しかし、多様性の尊重は、結局のところ、多様な環境に対する適応を必要とするのです。それは、創造的な精神によってのみ可能です。

同一の発展課題を解決するために、相異なる道を見出すことができる精神。非人間的になりつつある今日の世界からは、かなり調子外れだと見なされるかもしれない精神。すなわち、革新（イノベーション）と発明力は、純粋な物質的利益以外の何物かによって動機づけられるという確信。

社会的必要（ニーズ）に応えること、コミュニティ精神によって組織すること、貪欲よりも必要を優先すること これらもまた革新を駆り立てるものです。そのことをみなさんは、価値を利益に転化することによ

って、「民主的なやり方で事業を行う」ことによって、日々証明しています。

今日の世界では何かが見失われつつあることを、私たちは知っています。空前の富があります。テクノロジーを切りひらく道。人びとを結集する新たな方法。にもかかわらず、優勢な経済的態度は、あらゆる世界観を、一サイズ向けに固定し閉じ込めています。

ある国をとらえて、ありきたりの画一的な経済調整政策というマリナーに浸せ、そうすれば万事うまくいく、と私たちは言われています。

さて、私たちは、万事うまくいかないことを知っています。労働の世界について語らせてください。

《雇用創出：グローバルな優先課題》

私たちの「心の交感」は、基礎的な共通の理解というリズムによって共鳴します。

私たちは、労働は商品ではないことを信じています。

私たちは、仕事は収入以上のものであると信じています。仕事は尊厳です。仕事は自尊の源です。仕事は家族の安定の源です。そして仕事は、コミュニティにおける平和の源です。仕事は、人びとの経済的、政治的、社会的な関心の核心にあるものです。

どんな役職に立候補する政治家も、仕事の分野で何か内容のあるものより多くの職、より良い職、良質の社会保護を提供することなしに、選ばれることはできません。これらのことこそ、人びとが自分のニーズや期待を表現する場合の中心に置いているものです。そしてそれは、今日の世界における、多くの不安と不安定の根底にあるものです。

人びとの観点からグローバル経済を見るな

らば、その最大の失敗は、人びとが住んでいるところで十分な職をつくりだせなかったことです。

今日、10億人以上の人びとが、世界中で失業ないし雇用不足の状態にあり、ますます増加し続けるインフォーマル経済は、多くの貧しい国で90%にも達しています。人びとはこの事態を、人間的価値の欠如、モラルの羅針盤なきグローバル経済、と見ています。

間違えないでください。これは南北問題だけではありません。それは、世界のあらゆる社会とあらゆる経済に影響を及ぼしているのです。

人びとはグローバル化に期待している、と私は考えます。しかし人びとには、グローバル化の利益が公正に分配されているとは見えないのです。

人びとは、貪欲が支配し、権力が支配する、経済的な意思決定を心配しています。彼らは、公正と説明責任を求めています。何よりも彼らは、機会、雇用を通じた尊厳、生まれたところ、住みたいところ、留まりたいところでの、良質の職を求めているのです。

現実はそのようになっていません。その結果が移民に対する圧力の増大です。その政治的帰結が、外国人労働者に対する抵抗の増大です。そして私たちは、失業し疎外された人びとが、暴力とテロリズムという過激な解決策を追求する人びとを生む、格好の土壌であることを、よく知っています。私は、世界的に広がる失業が、今日の世界において、安全に対する最大のリスクの一つである、と信じています。

私たちはILOにおいて、「ディーセント・ワーク・アジェンダ」をもって、これに応えました。このアジェンダは、雇用創出と労働における権利、基本的な社会的保護および社

会对話を、国際諸機関にとってのグローバルな優先課題とし、またすべての社会にとっての優先課題とする、人びとを中心とした戦略です。

そしてちょうど数週間前、重要な画期的展開が見られました。すべてのアフリカ諸国の大統領と首相が、雇用と貧困に関する特別サミットをそうした種類の会議として初めて召集することに合意したのです。わたしたちは既に、その会議のホストとなる、アフリカ連合およびブルキナ・ファッソ政府と共に活動しています。今年の国際労働会議に対する私の報告は、まさに「貧困から抜け出すための労働」でした。結局のところ、仕事が、貧困から抜け出す道なのです。職をつくりだすことなしに、貧困を根絶する道はありません。そして協同組合事業は、そのことを実現する、中心的な生産上の環なのです。

また昨年、私たちは、フィンランドのハロネン大統領とタンザニアのムカパ大統領を二人の議長とする、「グローバル化の社会的次元に関する世界会議」を設立しました。この世界会議は、四大陸の指導的な思想家たち相異なる経験と、時に食い違う観点を有する、ノーベル賞受賞者や学者、事業界および労働界の指導者、市民社会活動家および政治家たちによる多様なクロス・セッションによって構成されます。

私たちは、困難な問題に関する対話が実りあるものになりうることを示そう。人びとの目を均等化へと戻そう、と話しました。

生まれつつあるキーポイントの一つは、人びとには、一般にすべてがグローバルなものを促進するためになされているように見える、という事実です。グローバルな貿易、グローバルなコミュニケーション、グローバルな金融、グローバルな投資です。

しかし、人びとと家族は、地域的に生活しており、それゆえ人びとは、グローバルなものの振興と地域的なものの振興の間に均衡がなければならない、と感じています。

それゆえ、雇用と社会的保護、地域発展、地域資源の増大、社会的正義など、これらすべてのことは、人びとの関心の最も核心にあるものです。そしてもちろん、これらすべてのことは、みなさんの存在の最も核心にあるものです。

《今後の挑戦課題：協同組合アジェンダ》

私は、真の多様性を作り出す上で、私たちが重要な政治的時機、希望に満ちた時機に到達していることを確信しています。対話と理解に対して、みなさんがこの数年追求してきた価値に基づくビジョンというあり方や、多国籍企業すべてを合わせたよりも多くの、1億人の職と、8億人の組合員を生み出してきた、結果重視のアプローチに対して、場が開かれてきました。

挑戦し試されてきた説明責任の機構を通じて、地域コミュニティに埋め込まれた、社会的目標をもった事業体。そのいくつかは、きわめて大規模なものに成長しています。みなさんは、世界中の民間企業が得たいと願っている、信頼という、唯一の最も重要な資産を生み出しているのです。

それゆえ私は今日みなさんに、私たちの同盟を強化し、グローバル化を人間化する、新しい方法について共に考えることに、力を貸していただくよう、訴えたいと思います。二つの特別な提案をさせてください。

第1に、貧困と闘う私たちの活動の規模を引き上げる方法を見つけ出そうではありませんか。グローバル化に関して最も広がっている関心の一つは、激化する競争が社会的不安

定を生みだし、最も弱い人びとが、個人的にも家族や企業においても、最も傷つきやすくなっている、ということです。

私は、協同組合運動が、これらのディレンマを解決する方法を提供することを信じています。

声と代表（人びとの発言権と代表権）は、政策の変化を要求するためにも、学校や診療所、道路、通信および電力網、廃棄物処理システム、水供給をつくり出すために、コミュニティ活動を動員する上でも、決定的です。

協同組合は、時にILOの支援を得て、こうしたことを世界中で行っています。私たちはその実例を各地に見出すことができます。エチオピアでは、より多くのコーヒー栽培者が市場にアクセスできるようになっている。コロンビアでは、協同組合が救命医療サービスを広げている。インドでは、1万以上の村の農民たちが牛乳の加工・販売から利益を得ている。南アフリカでは、協同組合がHIV/エイズを抱えて生きる人びとにケアを提供し向かい合っている、といったように。

しかし散漫なプロジェクトでは十分ではありません。それらを新たなレベルに持っていかなくてはなりませんか。私は、発達した諸国の協同組合が、これらの投資に対して巨大な貢献をなしうることを信じています。みなさんの多くが、既にこの任務に完全に従事されています。

今日、私は、ICAがILOと一緒に、発展途上国の協同組合を振興・強化するための、技術協力計画を開発するよう、呼びかけたいと思います。

私たちは、各国の貧困削減戦略が協同組合を振興すると共に、最も貧しい人びとが自らを組織し協同の力をコミュニティにもたらしうることができるような仕組みを私たちが発展

させる、その両方を保障することを目指すべきです。

将来、発達した諸国のすべての協同組合が、発展途上世界の協同組合とパートナーシップを組むことを考えるのは、夢でしょうか？そのことが、事業体から事業体への協同の、最も印象的なグローバルネットワークが生み出すことでしょう！そして、そのことが、2015年までに極貧を半減させるという国連ミレニアム・サミットの目標達成に巨大な*****（5字単語、判読困難）を提供することでしょう。

第2に、193号勧告を適用する、私たちの共同活動を強化しようではありませんか。193号勧告は、積極的な経験を何倍にも普及することを可能にするような、法律と行政システムおよび政策を政府が発展させるための枠組みを提供するものです。

ICAおよびその会員の支援を得て、既にこの文書は22カ国語に翻訳されています。そして、193号勧告採択以降1年という短期間に、それが地域および全国のレベルで実際の現実に移されていることを、私たちは目の当たりにしています。

南アフリカでは、協同組合戦略の開発における支援が、新たな法律につながり、間もなく法令全書に収められる予定です。ギニアビサオは、193号勧告に基づく全国政策を採用し、同様の進展を私たちは、カナダからクロアチア、モンゴルに及ぶ各地で見してきました。ラテンアメリカでは、10のセミナーが開かれ自覚を喚起しました。ロシアでは、国会が農村協同組合開発を取り上げました。そして中国では、勧告文書を使って、国の将来的な協同組合法の枠組みに向けて、概念上の基本が議論されました。

193号勧告の特別な側面の一つに注意を喚

起させてください。それは、協同組合における女性の役割に焦点を合わせ、ジェンダー平等に偉大な役割を果たすことを求めるものです。現実には、女性マネージャーの価値と、協同組合の活動において女性組合員が果たしている決定的な役割を示しています。

協同組合において　そして私は世界中の多数の意思決定機関において、と付け加えたいのですが　女性が指導的地位に就くことを振興するために、もっと多くのことをなすべき時です。私は、この問題に対するノルウェーの強力なリーダーシップに謝意を表したいと思います。ジェンダー平等は、193号勧告の一つのキーであり、将来に向けて協同組合を強化するキーなのです。

この分野およびその他の分野において、私は、ICAがILOと共に、193号勧告を促進し実施するための多年度計画を開発し、必要な資源を共に探すよう、呼びかけたいと思います。

みなさんの知識と経験を、政策的助言とより良く結びつけ、雇用と企業の創出をグローバル・アジェンダの中心に据えるために、共に活動しようではありませんか。

《共通の未来》

以上が、私が「われら共通の協同組合アジェンダ」と呼びたい事柄です。ILOの門戸は、みなさんがそれを現実のものにし前進させる、もっと多くの方法や他の考え方に対して、開かれています。

しかし私は次のことを繰り返します。みなさんが決定的なのです。みなさんは、仕事の質が社会の質を規定することを理解されています。みなさんは、社会的目的のために利益を得ています。そしてみなさんは、さまざまな国において、さまざまな大陸において、価